

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、14～21℃台を示し、やや低め～平年並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり11トンの水揚げで、前週の1.6倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり0.4トンの水揚げで、前週の57%（前年を下回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり16トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり0.2kgの水揚げで、前週の2.9倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり133kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり18kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり300kgの水揚げ（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ソウダガツオなどが1日1統当たり404kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり112kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マガツオなどが1日1統当たり106kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり254kgの水揚げで、前週の69%（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（12/4～12/8の5日間）沖合イカ釣（船凍船）は、隠岐諸島北沖で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び能登半島沖～山形沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第3-34号 長崎県周辺海域の海面水温（12月号）」を発売しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>